



発行
社会福祉法人 牧ノ原やまばと学園
〒421-0412 静岡県牧之原市
坂部 2151 番地 2
TEL:0548-29-0221 FAX:0548-29-0157
E-mail:honbu@yamabatogakuen.jp
http://www.yamabatogakuen.jp/

機関誌代は無料です。

かかわらなければ、 学びも出会いもない

(一)

今年も、ビッグニュースをお届けする時季になりました。お分かりのように、二〇二二年度は、法人のどの施設でも、コロナ感染拡大の影響を受けました。特に、夜間もご利用者の介助をする(いわゆる入所)施設では、「ぎんもくせい」と「わかば」を除き全ての施設でクラスターが発生、対応に追われました。通所施設でも次々に感染者が出て休業を余儀なくされましたが、職員たちの真剣な努力と助け合いによって大事に至らず終息でき、感謝しています。

新型コロナウイルスは、この五月八日から季節性インフルエンザ等と同じ「五類」に位置づけられ、三年余続いた国のコロナ対策も大きく変わりました。例えば「外出



制限」は緩和され、従来の感染予防方法(マスク着用、手洗い、三密回避)は、一律の要請事項ではなくなり、個人や事業所の判断にゆだねられることになった等です。しかし、肝心のコロナの感染力は少しも衰えていないので、人々の命を預かる私たちとしては、制限

の緩和は、うれしいような困るような、複雑な思いにさせられる方針です。制約のある中でも何とかご家族と面談できるようにこれまで工夫してきたのですが、今後はさらに、「人間らしい自由な生活」と「感染予防」両立のため、知恵を絞っていく必要があります。

(二)

最近、施設の現場を訪れた私は、日常業務を淡々とこなしているにもかかわらず、笑顔を失った職員を見かけ、気になりました。

(時間的ゆとりがない?心の支えがない?心配事がある?)等々、うつむいている職員がいると、やはり案じられます。しかしそのとき私は、何食わぬ顔をして、ご利用者と交流し、その職員とは深入りしないまま立ち去りました。

相手を配慮した面もありますが、自分自身の中に、これは注意すべきことなのかという迷いもあり、その思いを隠したとも言えます。

これを書きながら今思うことは、私自身が優しい気持ちを持って、直接、そのスタッフから回答を聞くべきだったということ。 「どうしたの?」「あなたが沈ん

でいると、他の人たちも笑わなくなるよ」「どうすればいいと思う?」等々、今頃になって質問が出てきますが、そのときは自分の心の窓が閉ざされているので、相手との会話も始まらず、最終的には、理解し合う機会を失い、明るい職場づくりのためのヒントも学べなかったのです。

ハンセン病と闘った詩人、塔和子さんの詩にこんなのがあります。

かかわらなければ

この愛しさを知るすべはなかった
この親しさは湧かなかった(略)

人はかわることから
さまざまな思いを知る(略)

ああ 何億の人がいようと
かかわらなければ路傍の人

個人的な出会いと、仕事上の交わりは違った面もあるでしょうが、「かかわらなければ、会話も、対話も始まらない」という点では同じであり、同じ事業目的で結ばれた同業者としてはなおさらのこと、お互いに「路傍の石」になつてはならないと思ったのです。

〈理事長〉長沢道子

垂穂寮

★垂穂寮改革委員会2022年度毎月1回開催

法人から任命された佐々木炎委員長のもとスタート。「人材育成」「環境」「人間関係」「業務」の4グループに分かれて改革に取り組みました。毎月各グループから近況報告を行い、全体で課題を整理し、改革について検討。静岡福祉大の先生や法人内のベテラン職員の協力も得て、活発な取組みとなりました。



★10月1日 コロナ禍での秋祭り

ご利用者と職員全員が参加して秋祭り。豪華なランチで満腹になり、おみこし、盆踊り(炭坑節、チャンピオン音頭)、職員のヲタ芸等、お祭り気分を満喫しました。

★2023年1月29日～2月20日 新型コロナクラスターの発生と、職員の団結

ご利用者44名、職員20名がコロナの猛威にさらされ、次々に感染していく中、職員たちは一致団結して対応し、重症者を出すことなく終息しました。

法人からも多くの応援職員が派遣され、差し入れ等、励ましを頂きました。

デイサービスセンター 真菜

★5月2日 新しい真菜開所

三栗から坂口へ5月1日に引っ越し。5月2日から木の香漂う新施設で新たな歩みが始まりました。これからもご利用者さんと職員が幸せいっぱい笑顔で過ごしていきたいです。



★9月29日と、翌2023年3月10日、食糧支援

真菜の職員が中心になり、食糧等の寄付を募り社協へ寄贈。ご利用者も一緒に行ったので、帰りには相良の歴史資料館へ立ち寄りしました。

★9月 敬老会での師匠と弟子

ご利用者のKさんは以前、ボランティアで真菜に来て下さっていた方。そのKさんから踊りを伝授していただいた職員が、日頃の成果を披露しました。



★2023年1月 石雲院へ初詣

日頃の歩行訓練の成果がみられ、ご利用者さんたちは、階段もスタスタと登られ、職員もビックリ!!

★2023年3月16日 年度末の真菜職員会議で施設長と主任より、職員の表彰式

年間活動の功績をたたえ、「チームワーク抜群で賞」や「楽しく外出できたで賞」をグループに対して授与。職員ひとりひとりに対しても適切な気づきに感謝し、表彰を行いました。

ケアセンター花もも

★5月1日 ケアセンター花もも 開所式

建物が老朽化したため、坂部から坂口に新築移転し、名称も「ケアセンターさざんか」から「ケアセンター花もも」に変更。心機一転して新しい歩みを始めています。

★花ももの仲間が3名増えました。

4月佐々木結菜さん、7月増田陸己さん、8月吉添浩之さんが新たに利用開始。平均年齢を若くし、明るい雰囲気が増しました。

★2023年2月24日 宮美殿 食事会に外出

恒例行事だった宮美殿の食事会を3年ぶりに開催。還暦を迎えられたご利用者をお祝いし、1年足らずの花ももの思い出DVDを鑑賞しました。

診療所

★2022年7月～2023年1月 前年度に続き、ワクチン接種4回目・5回目を実施

やまばと診療所の赤堀先生と竹内先生のご協力もあり4回目、5回目の接種を受けた方は、希望寮・聖ルカホーム・グレイス・垂穂寮で合計869名(延べ人数)になりました。病院や接種会場に行くことが出来ないご利用者もいるので、当法人内に診療所があるのは大変有難いことです。

★2023年4月3日 赤堀先生がクリニックを開業

当診療所の管理医でもある赤堀由砂先生が、藤枝駅前(藤枝駅前ホテルオーレ3階)にクリニックを開業。お忙しくなりそうですが、引き続き管理医を引き受けていただけるとのことですので、感謝しています。



ビッグニュース (2022年4月～2023年5月)

※2022年の出来事については原則として、年数を記していません。

法人全体

★5月、二つの建物が空っぽになり、法人へ資産を移管

「花もも」と「真菜」が使っていた二つの建物は、どちらも土砂災害警戒区域にあり、今後は、手順を踏んで解体していく予定です。

★6月～ 管理者と主任を対象にした、それぞれ別々の、連続した研修

管理者研修(中長期計画策定)の講師は、田島誠一先生。主任等研修は、吉浦先生と佐々木先生(事例研修/主任の役割の学び)。

前者は計9回、後者は計6回で、継続した研修は初めてでしたが、特に、管理者研修は、今までにない重厚な内容でした。

★7月～ 入所施設でもグループホームでも通所施設でも、コロナ感染急拡大

グレイス、希望寮、わかば、みぎわ、垂穂寮、聖ルカ、相寿園など、「夜もケアする居住型施設」でクラスターが発生。通所施設でも感染者が出てしばしば休業しましたが、職員たちの必死の対応と、全体的な協力によって、死者を出すことなく終息できました。

★12月16日 すみっこの石による「Xmasコンサート」第50回で最終回に。

毎年、コンサートを開催し、純益を寄附して下さった「すみっこの石」の皆様(代表は飯靖子さん)のボランティア活動も今年で最終回に。半世紀にも及ぶ長年のご支援に対し心から感謝申し上げます。皆様の善意に応える歩みができますようお願いしています。

★改正労務関連法の施行と、下記のような対応

①最低賃金アップに伴う時給の見直し、②要件該当者に社会保険適用拡大、③育児介護休暇取得の周知徹底、④女性活躍推進法(公表すべき項目の検討)。/当法人は、女性管理者の割合が56%など、女性が活躍していますが、男性の育休取得者はまだゼロの状況です。

ワークセンターなのはな

★7月22日 しまだ塾と生活安全課の協力を得て、交通安全教室を開催。

説明を真剣な眼差しで聞き入り、その後は徒歩と自転車

グループに分かれ実地指導。新しいルールもあり、良い学びになりました。

★7月26日～ 男性洋式トイレを増設

男性利用者がいつも順番待ち状態だったため、プラットホームの一角にトイレを増設。7/26からおおよそ1か月、工事の騒音や埃もありましたが、今では、ゆっくりと用を足せるようになり安心して使っています。

★7月28日 なのはなの多機能室で自分で行える簡単調理

チャーハン・やきそば・ちらし寿司など、スーパーで売っている材料を使って挑戦。デザートも作りました。休日には自分で作って食べてほしいと願っています。

★11月18日 富士世界遺産センターへ、2年ぶりの日帰り旅行。

コロナ感染症拡大前であったため実現。皆に人気のバス内でのカラオケはありませんでしたが、美しい富士山など、自然に癒され、富士宮やきそばでお腹も満たされ、楽しい1日でした。

★12月23日、1月9日 島田市近辺の感染者が増え、なのはなにも波及。

毎日の換気や消毒作業も空しく、閉所すること2日。職員は受注していた作業に追われ、ご家族の方にもご心配をおかけしました。又、作業量も低下して年度末までハラハラドキドキの状況でした。今後も感染防止に努めてまいります。

生活支援センター やまばと

★父娘の涙の再会

やまばとの入所施設で長く生活された女性のご利用者が介護保険第2号被保険者になり、障害者施設から高齢者施設聖ルカホームに移行。そこにはお父様も入所しておられ、何年かぶりの再会になりました。お父様は娘に気づいて、涙を流されたとのこと。ともに過ごす時間を持って幸いでした。

★2022年11月 防災・感染症に役立つ備品を公用車に。

利用者様宅を訪問の際などに災害が発生した時に備え、助けを求める張り紙、ガムテープ、マジック、軍手、マスク、消毒等を購入し、移動用の公用車の中に備えました。職員も安心して外出(訪問)できるよう、マニュアルと併せ確認していく予定です。



みぎわ(グループホーム) ★2月3日 節分

久しぶりの行事であるため、数日前より「いつ豆まき?」とくりかえし質問。当日は、鬼のお面に向かい、元気よく「鬼は外!福は内!」と豆をまいていました。



★6月25日 トランプ



休日の余暇活動に、数名のご利用者間でトランプの神経衰弱や七並べがブームになっています。ゲーム中は、「次〇〇さんの番だよ!」と声を掛け合い、「すごいじゃん!」「やったー!」と、互いを思いやる姿に心がほっこりとさせられます。

★9月17日 みぎわ食堂にて出火という想定で避難訓練

日頃の訓練のおかげか玄関までの避難はスムーズでしたが、一斉避難のため玄関が混雑してしまい、逆に危険を生んでしまったことが課題です。今後も継続して訓練を行い、災害時に対応できるよう心がけて行きたいです。



★12月18日 単独のクリスマス会

例年、垂穂寮のクリスマス会に参加させて頂いていましたが、感染症予防の為、みぎわ内のみで実施。サンタクロースに扮したスタッフから一人一人プレゼントをもらい、皆さんとてもうれしそうでした。



★2023年3月14日 鈴木敏男様退所

鈴木敏男様が特別養護老人ホームへ入所されることになり、退所。いつも笑顔で元気な声で挨拶して下さった敏男さんは、どこに行っても周囲の方々から愛されることでしょう。これからも素敵な笑顔で健やかに過ごしてください。



ケアセンターかたくりの花

★3月1日~ 周辺地域の清掃を定期的実施

散歩時の空き缶やたばこの吸い殻、食べ物の包装紙など色々なゴミ拾いをしています。最近では近隣住民の方々にも認知され始め、「いつもありがとう」と言って頂けるまでになりました。



★7月15日 意外と難しい!?流しそうめんキャッチできるかな

夏祭りに合わせ、新しく長〜い流しそうめん機を購入。レールを繋げると1.5m程にもなります。そうめんの流れるスピードが速くて意外とキャッチするのが難しい。「できない」と尻込みしていた青嶋明美さんは、やっとキャッチでき、美味しくそうめんをツルツルッと食べていました。下のプールに溜まったそうめんを要領よく箸に引っ掛けてすくっているのは、宮浦圭佑さん。真剣な表情でした。

★10月11日と13日 秋の行楽シーズン、大きな栗にびっくり!



戸外でゆっくり過ごそうと、御前崎の由緒あるお堂へ。その湧き水は、足首程の深さで1年を通して同じ水温。みんな、湧き水遊びを大いに楽しみましたが、特に張り切っていたのが小杉悠真さん。笑顔で何度も水を汲んではこぼし、嬉しそうに豪快にバシャバシャとかき混ぜていました。近くには丹波栗の木があり、大きなイガがたくさん。あまりの大きさに、拾ったイガに顔を近づけ「何だこれは…?」と不思議そうな表情の村松佳通さん。



★12月29日 恒例の年末お楽しみ会。カラオケ、豚バラメガ盛りパック焼肉体験



相澤保代さんはまるで焼き肉屋のおかみさん。眼光鋭く肉の焼け具合を見て、慣れた手つきでクルクルとお肉を何度も裏返していました。大橋直人さんはテーブルについた途端、目の前のお肉のいい匂いに思わずニンマリ。トング片手にお肉の焼ける音を堪能していました。

★2023年1月13日 3年連続の成人式、「おめでとう、清水さん!」

坂田茜さん、大石優花さんに続いて今年度は清水友雅さんが二十歳に。ニコニコ笑顔が印象的な清水さんは、この日はスーツでピシッと決めていましたが、いつものように相澤さんの横でお尻をフリフリしたかと思うと、次は石神さんの前で上靴遊びと、大好きなご利用者の間を渡り歩いていました。スライドショーのあと、ご家族からの手紙を読むと、思わず涙ぐむボランティアさんもいました。



わかば

★6月10日 恒例のBBQパーティー

当初は施設の外でBBQを楽しむ予定でしたが、天候が崩れるとの予報があり、変更。玄関先でホットプレートを使って焼肉、焼きそばを調理し、食事はリビングで楽しみました。



★9月17日 花火

暗くなった時間を見計らい、花火(手持ち花火)に点火。本来は、真夏の行事ですが、天候に恵まれず、時季外れの楽しみとなったわけです。それでも、色鮮やかな花火をじっと見つめていました。

★10月6日 わかば利用者&職員で遠足

わかばから距離3.5キロ、高低差およそ110mの、空港東側展望広場「だいだらぼっち公園」にむけて歩いて出発。おいしいお昼ごはんを期待し、楽しんで?歩きつづけました。「運動の秋」「食欲の秋」を満喫した1日でした。



もくれん

★11月26日 「さんまパーティー」からBBQへ



もくれんでは、さんまパーティーが伝統行事でしたが、近年のさんま高騰により断念。しかし「食欲の秋」ですから、お肉&焼きそばをしっかりと味わいました。

★2023年3月18日 ラーメン作り。

出来立てのラーメン(インスタントではなく)が食べたいというご利用者からの要望で、出前をしてくれるお店を探したものの残念ながら見つからず…。では、自分たちで作ってみようチャレンジ。おいしい?ラーメンができました。



島田市立養護老人ホーム ぎんもくせい

★5月19日 代表者2名の宣誓から始まった運動会

種目は、玉入れやメデイングボール、バナナ食い競争、職員の仮装リレーなどいろいろ。2022年度は赤組が優勝。



★8月18日 納涼夕涼み会

ご利用者にも準備など手伝ってもらい、当日は手作りゲームを楽しみ、景品をゲット。夕食は特別メニューで、入所者さんの乾杯でラムネやノンアルコール飲料をごくごく。



★9月15日 午前中に敬老会、米寿のお祝い

職員によるギター演奏、抹茶とお茶菓子、昼食など、皆さん大満足の様子でした。

★12月22日 コロナ陽性者と濃厚接触者、各1名発生

陽性反応したご利用者をすぐ隔離対応。同室者も濃厚接触者のため静養室で1週間隔離。他の入所者に広がることもなく終了したのは幸いでした。

★12月30日 朝8時半頃、火災発生。

火災報知機が作動し、火災表示板には「2階230号室から」の文字。駆け付けると227号室内に黒い煙が充満し、炎も。消火器で初期消火。程なくしてスプリンクラーも作動。非常ボタンを複数職員が押し、避難誘導を開始。8:40頃一次避難完了。8:45ごろ、消防車と警察車両が到着し、鎮火を確認。負傷者はなく入所者も職員も全員無事でした。原因は不明です。



居宅介護支援事業所 シャローム

★10年ぶりの新人ケアマネ誕生(11月1日)

ご本人は、介護スタッフとして入所施設に勤務しながらケアマネ資格を取得。実務研修を経て、当所で働き始めました。利用者に寄り添った支援を心掛け、日々頑張っています。

★2023年2月17日 グレイス・すずらん・ぶどうの木関係者と一緒に「坂部ふれあいサロン」に参加

遊びリレーションなどによって、地域の方の交流の場を盛り上げました。「地域とともにある事業所」「顔の見える関係づくり」に努めていく予定で、これからも定期的にお邪魔したいと思います。



ワークセンターコスモス

★4月11日 勤続表彰

勤続30年になるご利用者、喜田寛次さんと

鈴木佐知子さんに対し、長年の貢献に感謝し、表彰状をお渡ししました。

★8月12日 作業に励んでいる皆さんへ涼の提供。

垂穂寮からかき氷の機械を借り、模擬店風に目の前で氷をかき、好みのシロップを選んで食べてもらいました。みなさんうれしそうでした。



★10月28日 ハロウィンイベントとして初めてのキッチンカー!

クレープ屋さんの可愛いキッチンカーが登場しました。クレープを初めて食べる方も多く、得体のしれない食べ物としてハロウィンにぴったり?だったようです。また食べたいと好評でした。



★12月12日 3年ぶりに島田高校との交流会

生徒会の生徒さんが司会進行、演奏は吹奏楽部の皆さん、家庭部の皆さんが作ったクリスマスの飾りと手作りクッキーがプレゼントされ、校長先生も飛び入りでこれ、ご利用者、職員ともに大喜びでした。



★2023年1月13日 ハタチのお祝い

橋本大輝さんの二十歳のお祝い。仲間達からお祝いの言葉をもらい、照れくさいような嬉しいような、はにかんだ表情が印象的でした。「働くお兄さんになって、お仕事頑張ります」という決意表明がありました。



ワークセンターふれあい

★10月15日 ハロウィン輪投げ大会開催!

ご利用者と職員がグループに分かれて競争。賞品は、利用者さんたちが行き来した土地の名産品。皆さん必死で的を狙い、賞品をゲット!ずっと我慢してきた旅行気分をちょっぴり味わうことができました。



★10月30日 山田園様の箱折作業終了...29年間ありがとう!

本社が川根から藤枝へ移転したため、山田園様からの箱折作業は10月末で終わりました。こちらの仕事が少ないときも、逆に多いときも、何かと利用者さんたちを気づかって対応して下さった企業さんでした。長くお世話になり、感謝です。



★11月25日 総合防災訓練!

「施設食堂から火災発生」という想定。ご利用者全員が、交代で水消火器を手に持ち、目標物のコーンにむけて、消火訓練しました。台風15号以来、災害への意識が高まり、中でも河野さんは、今までにない積極的な行動でした。



★12月23日 毎年のクリスマス会・今年は宅配ピザ「ナポリの窯」が来た!

突然、施設に宅配ピザ「ナポリの窯」が到着。サンタクロースも登場し、ご利用者さんはびっくり!!サンタに扮した高松施設長からキリスト教の話もちょっぴり聞き、プレゼントも貰って、皆さんうれしそうでした。



牧之原市地域包括支援センターオリーブ

★2023年1月5日 ご利用者の陶芸作品を さざんかホールの一隅に展示。

細江在住のご利用者の自宅には自分で焼いた素敵な陶芸作品がいっぱいあります。「あげるよ」と言われ、1つ花器を頂いたので、ろうばいの花を生け、健康福祉センター(さざんかホール)に飾って、皆さんに見ていただきました。ご本人には、花と花器の写真を頂いた贈呈。



★2023年2月 ふれあいサロンでフレイル予防ミニ講座と頭を使う遊びの提供

市民の皆さんが元気で暮らしていけるよう、啓発事業の一環として行いました。

★挑戦するのは素晴らしいこと!

私たちが関わっている「お母さんと娘さん」が算数ドリルや塗り絵に挑戦。「作品が出きたので、見に来てね」と連絡があり、ご自宅を訪問し見せていただきました。作品もさることながら、達成感に満ちた笑顔がすばらしかったです。



ケアセンターマーガレット

★12月13日 Aさん、いつまでもお元気で、ありがとう!

Aさんの聖ルカ移行が決まり、全員で壮行会。

やまばとでの生活が長いAさん、その歴史を、写真で振り返り皆で共有しました。これからもAさんらしい毎日を送れますようお願いしています。



★気持ちの良い空間作り、エコな活動に取り組もう

生活空間への感謝を込め、毎月末、あつまりーナ館内の各部屋を、ご利用者・スタッフ全員できれい



に掃除しています。又、ご利用者の活動の充実を図るためにペットボトルを潰し、ラベルを剥がし、近所のエコステーションまで運んでいます。このリサイクル活動を通し、ご利用者の可能性や力を沢山発見する機会となりました。

★ようこそ、マーガレットの癒しの空間へ

今年度より新しいリラクゼーション活動を開始しました。職員とご利用者Bさんが淹れたコーヒーでカフェタイムを楽しんでいます。時には、季節を感じながら、芝生でティータイムを過ごす事もあります。コーヒーの香りに包まれる癒しのひと時、いいですよ。〜♪



ワークセンターカサブランカ

★10月1日 最低賃金944円にアップ!

2022年10月1日に静岡県での最低賃金が913円→944円に改定。ご利用者の賃金もアップし、作業への励みになりました。



★11月2日 ブラッシング指導

毎年恒例のブラッシング指導。インストラクターは島田市健康づくり課の保健師さん。磨き残しチェックのため口の中を真っ赤にしなが、みんな真剣に実施していました。

★2023年3月7日 腰痛予防講座

カサブランカの仕事は体力勝負です。この頃は「腰が痛い・辛い」などの声が多く聞かれていましたので、その予防のための学習。講師は島田市健康づくり課の理学療法士さん。当日は、なぜ腰痛になるのか?腰痛にならないための体操、仕事の姿勢などをわかりやすく教えていただきました。



今回は体育館など、もっと広い場所できたらと願っています。

★2023年3月28日 1年の頑張りをお花見で慰労

近くの阿知ヶ谷グランドの隅でお花見をしながら昼食。初めはそんなに乗り気ではなかった利用者も、青空と桜の花びら舞う中で心癒されたようです。シートに横になったり、おしゃべりしたりしていました。最後は、グランド周辺の草取りをして、晴れやかな気持ちで帰りました。

ワークセンター希望の家

★4月1日 新しい2人の利用者さん、いらっしゃ〜い♡

新しく杉本常夫さんと中川大輝さんが仲間入りしました。

大歓迎です。



★ご利用者と職員のポッチャ大会 4回(4/28、6/23、9/29、11/24)

「チームワーク力」を高めることを目的に2022年度は4回開催。毎回4チームに分かれ、熱戦を繰り広げました。ポッチャ大会を通して、仲間を褒め合う・労う声が多くなりました。

★2022年6月9日/2023年1月19日 交通安全教室で交通ルールを学ぶ

講師は交通安全指導員の方々と、自転車での交通ルールと、徒歩での交通ルールを、映像や実演をとおして教えていただきました。



★8月11日 やってきたぞ!夏祭り♪

久しぶりのカラオケ大会・ボランティアさんによる手作り焼きそば、お菓子すくい、ピエロさん登場〜♪としばらくぶりに夏を満喫しました!!



★10月31日

職員がご利用者を驚かせるハロウィン企画。9月から玄関にジャックオランタンを飾り、ハロウィンムード。当日は、リアルすぎる恐竜(職員の仮装)が登場し、みんなびっくり!



コミュニティセンター ぶどうの木

★10月3日
ほっとサロンご利用者10名が環境整備に取り組む

花壇の手入れや草取り等、できることをみんなでやろうと実施。自宅にある苗や、My 鉢を持参し、手慣れた手つきで働いてくださり、すっかり綺麗になりました。玄関先も華やかになり、来所のたび皆さん、植物の生育を見守っておられます。



★10月7日 ご利用者12名、職員3名で牧之原市消費者協会の講座を受講

「悪質商法の事例を知りたい」というご利用者の要望に応じて、実現。寸劇を交えて、高額な布団を購入させる詐欺や、不用品買取と称した詐欺等について学びました。詐欺に遭いそうになった体験を話し始める人もいて、最終的には「ことわり上手になりましょう」ということに。

★10月19日 食事付きデイのご利用者10名でいなり寿司作り

料理上手なMさんがお揚げの味付けを担当。「関西風にこだわってみたよ」とのこと、味が良く染みたお揚げが完成。各自、酢飯を詰めましたが、パンパンに詰める方、少量ふっくら詰める方…個性があふれていました。Mさんは、これ以来益々腕を磨かれ、90歳を迎えた今も色々な料理に挑戦していらっしゃるそうです。



★11月7日 ほっとサロンご利用者11名と職員、初倉の「さすき園」へ外出。

車中は景色を楽しみながらおしゃべり。到着後は、お汁粉や甘酒、抹茶アイス等、店内で一服。お土産にお茶やお菓子、野菜、花等を購入し、笑顔で帰宅しました。

★7月から10月 短時間リハビリテーションにて状態改善!

Tさんは、膝の手術後、リハビリ病院を経てぶどうの木へ。当初は歩くことや家事をすることも大変でしたが、ぶどうの木の運動に加え、自宅でPTから自主トレや体の使い方を習い、みるみる元気になっていきました。歩行も安定し、台所に立てる時間も増え、ご家族と旅行に出掛ける目標もできました。Tさんの変化は、わたしたちにとっても励みになり、うれしいことでした。



やまばと希望寮

★8月31日から約2週間 クラスター発生、職員は一致団結して対応

ご利用者1名がコロナ陽性となり瞬間に感染拡大。いろいろな思いになりましたが、みんなで力を合わせて頑張ろうと決め、一致団結して乗り切りました。他施設からも差し入れや応援をいただき、感謝いたします。ありがとうございました。

★9月23日 大雨による床上浸水

コロナが終息してから3日後、大型の台風15号が静岡県に上陸、豪雨となり、希望寮建物の中に水がじわじわと入ってきたため、コスモス棟とさくら棟のご利用者は2階会議室へ避難。雨が穏やかになったところで、さくら棟利用者は希望寮ホールへ移り就寝。コスモス棟利用者はそのまま2階会議室で就寝したのですが、いつもと違う環境に興奮して眠れない利用者が何人もいました。



★10月26日 キッチンカーの登場に大喜びのご利用者、目はキラキラ

キッチンカーをバックに写真を撮ったり、なぜ車から食べ物が出てくるのかと驚いている様子でした。

★11月から 毎月1回水曜日に元施設長・鈴木勝利さんの音楽教室

ご利用者は音楽が大好きで、いつもはホールを走り回っているご利用者も、静かな音楽の時は横になり心穏やかにリラックスします。鈴木施設長さんの音楽教室開催により、利用者さんが楽しめる行事が1つ増えました。みんな、心待ちにしています。



ライフサポート さふらん

★2022年10月20日 ミーティングで職員リフレッシュ体操

職員の健康のため、ミーティングでスタッフが集まり、研修動画を見ながらリフレッシュ体操をしました。コロナ禍で働くスタッフたちは笑顔一杯になりました。

★2023年3月3日 利用者からの嬉しい反応

初めてのサービス利用で、訪問介護の利用について悩んでおられたご利用者が、初回の訪問時にヘルパーが優しく親身になって話を聞いてくれて嬉しかったと言ってくださいました。わたしたちの励みにもなりました。

★2022年度 防災情報等の更新

訪問時に災害が発生した場合に備え、一目で避難地が分かるよう、ご利用者宅からの避難地、避難経路、移動手段等、順次見直しを行っています。利用者個人ファイルに挟み込み、ご利用者とヘルパーの安全確保に努めています。



相寿園

★7月3日 月下美人in相寿園

近くの花屋さんが「利用者さんのために」と持ち込んでくださった月下美人。花屋さんの予想通り7月3日21:30満開。一夜だけの夜の花。みんなでしみじみ鑑賞しました。



★7月19日 納涼祭

富士の間でご利用者のカラオケ大会挙行。熱唱続々。



★8月23日 力を抜いて「あ〜ん」。

牧之原市健康推進課の歯科衛生士さんと保健師さんに来ていただき、初めての口腔ケア。正しい歯磨きの方法や義歯の手入れの仕方を学びました。お口の手入れは、誤嚥性肺炎の予防や全身の健康維持にもつながることを学習しました。



★9月 大石よ志さん 百寿のお祝い

花束のプレゼントはじめ、内閣総理大臣・静岡県知事からの寿詞を受けられました。お孫さん夫婦を始め、牧之原市橋本教育長様も駆けつけられました。相寿園の敬老会でも主役となり、大忙しの9月でした。

★11月~12月 クラスター発生し、困難を味わう

次々に感染するご利用者と職員の状況に、タジタジとなりましたが、職員たちの真剣な努力と、他施設からの応援もあって、終息の日を迎えることができました。



★2023年3月30日 満開の中の花見

勝間田川のほとりで桜のお花見。今年は天気にも恵まれ、絶好のタイミングでした。が、やや歩き疲れてしまいました。

グレイス

★5月18日

つばきユニットのご利用者職員、新茶を楽しむ

体を動かしてリフレッシュした後、赤布の長イスに座って、新茶とお菓子を召し上がって頂きました。ゆったりした気分で、周囲の景色を眺めたりしました。



★6月16日 まるゆくさんの出張販売

外出がままならないご利用者のために、牧之原市にある衣料品店まるゆくさんにご協力いただき、メイホールに商品をセッティング。思い思いの洋服を手にとり、鏡を見て似合うものを選び、購入する喜びを感じていただきました。後日、自分で選ばれた洋服を着て似合うでしょ?とお話されるご利用者もいました。

★7月29日~9月 コロナ感染

職員が次々と罹患し窮地に陥っていたとき、「ホッとスペース中原」より応援に来て下さった伊藤安司さんは初日から夜勤勤務で、いきなり9人の利用者様をお任せしのですが、黙々とお仕事をされ、その姿に職員も非常に感銘をうけました。法人内の他施設からもたくさんの応援をいただき無事に乗り越える事ができ、感謝の念にたえません。



★9月 100歳になられた方4名に対し、副市長からお祝い

花束等の贈呈と記念撮影。写真は牧之原市広報に掲載されました。

★12月20日~12月27日 ご利用者職員全員で、楽笑会

ユニット単位でショーを披露。サザエさん一家の登場や歌謡ショー、福引、美味しいお食事等々、楽しんで頂きました。



ケアセンター野ばら

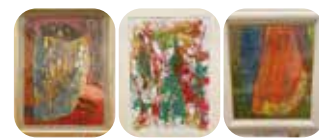
★8月からスヌーズレンを導入

リラクゼーションの時間を充実させるため、スヌーズレンの研修を行い、導入しました。ヨガマットに寝ころび、アロマの匂いと静かな音楽とイルミネーションの中で、皆様気持ちよさそうにくつろいでおられました。



★12月5日 ニコニコしまだクリーン大作戦に参加

障害者週間にあわせた企画で、その目的は、「自分達が住んでいる市町をキレイにしよう、障害への理解を深めてもらおう」。駅前通りと中央小公園で清掃活動を行いました。多くの人が参加し、盛り上がりしていました。



★12月13日 愛護ギャラリー展にて銀賞、奨励賞を頂く

静岡文化会館で開催され、毎年出展していますが、N.H様は銀賞、T.M様、I.T様は奨励賞を受賞しました。皆さんが思い思いで作った絵画が評価され、とても嬉しく誇らしく思っています。

デイサービスセンターすずらん

★6月21日 久しぶりに焼きそばづくり!!

コロナ禍で控えていましたが、昼食作りを再開。野菜を包丁で手際よく切り、玉ねぎ、豚肉、キャベツ等、ホットプレートで炒めると、美味しそうな匂いが施設中に。ご利用者も職員も待ちきれず、「お腹すいた」の大合唱になりました。



★6月～ きゅうり、ナス、さつまいも、赤シソ、ピーマン等、野菜が大豊作!

ご利用者や職員が、愛情込めて、水やりしたり、肥料をまいたり、草を取ったりしてきたすずらんの畑。今までは数本しかとれなかったきゅうりが、今年は数十本の収穫に。さつまいもやピーマンも大きく育ち、赤シソも沢山とれたので、ジュースにして、皆で味わいました。

★11月19日 100歳の記念の日に、美女ダンサーが祝いの踊りを披露

F様の100歳をお祝いして、マツケンサンバに合わせて、3人の美女が登場! F様や他のご利用者も合わせて踊りだし、にぎやかな誕生会になりました。ケーキも2つ! 「みんなに分けてあげて」とのF様の言葉に甘えて、皆で美味しくいただきました。100歳、おめでとうございます。



★2023年3月16日 インスタ開設、投稿開始

ご利用者様の様子や季節の出来事等、日ごろの活動を、インスタグラムでご紹介。ご家族にもタイムリーに伝えるよう努めています。「いいね」が励みになります。



ワークセンターさくら

★11月30日 ありがとう田中さん

ご利用者の田中堅二さん、B型の支給が終了し、今後はデイサービスを利用することになりました。4年8ヶ月ともに働いたことを感謝し、お別れ会を行いました。プレゼント贈呈やご利用者からの挨拶のあと、田中さんからも「ありがとうございました。」のことば。これからもがんばってください。



★2023年3月15日 コロナ禍が落ち着き、念願のボウリング大会。

3年半ぶりに藤枝グランドボウルでボウリング大会。ご利用者は大喜び。「ストライク出たよ。」「なんだか分からないけど全部倒れちゃった。凄い。」と歓声や驚きの声が飛び交い大盛り上がり。帰りには「来年もまた来たいね。」「仕事頑張ろうね。」と、作業意欲も向上しました。

★2023年3月31日 作業力がアップし、工賃もUP!!

一年間かけ、作業場のレイアウトを変更し、作業工程も見直しました。この結果、ご利用者が新規作業へ挑戦。一人ひとりの作業の幅も広がり、工賃向上に繋がり、ボーナスを支給されたご利用者は大喜び。



聖ルカホーム

★6月1日 花壇の整備

敷地入口と建物横のスペースに、聖ルカホームやデイサービスのご利用者や地域の方が花を鑑賞し、楽しんでいただけるよう、花壇を整備。色とりどりの花が咲きました。

★8月15日～9月16日 静岡福祉大学から実習生2名受入れ

介護課程を学ぶ静岡福祉大学の学生を、如月ユニット、皐月ユニットで初めて実習生として迎えました。若い学生たちは、ご利用者とも打ち解け、一生懸命に学ぶ姿勢は、職員にも刺激になりました。よい介護員となれるよう、応援したいと思います。



★12月15日 ユニット対抗フラワーアレンジメントコンテスト開催

ご利用者と職員が協力し、ユニット毎にアレンジメントの作品を完成。花の種類も花器も同じ物を用意しアレンジしたのですが、ひとつとして同じ物はなく、どれも素敵な作品で甲乙つけ難いコンテストでした。

★12月20日 二人目のEPA生受入れ

アニタアングレニギンティンさん(通称アニタさん)が、大阪での6ヶ月の研修を終えて、当地へ。介護の仕事しながら日本語の勉強をし、介護福祉士の国家資格取得を目指します。明るく素直な人柄で、ご利用者や職員に親しまれています。

★12月22日～2023年1月3日 新型コロナ発生のためショートステイ事業中止

短期入所ご利用者に1名の感染者が確認され、隔離しましたが、最終的には、ご利用者と職員計7名の感染に。重症化の方がいなかったのは幸いで、関係者が一致団結して困難を乗り越えることができたのも感謝でした。



ワークセンターやまばと

★6月10日 お楽しみ会でカラオケ大会

コロナ禍でしたが、ご利用者の楽しみを増やし、モチベーションをあげることを目的としてカラオケ大会開催。カラオケ機材は聖ルカホームからお借りし、感染症対策を万全にして実施。皆さん、とても喜んでいました。

★10月29日 恒例のもちつき大会

保護者の皆様と、地域の「里山の会」の2名の方を招いて開催。コロナ対策のため、その場での餅つきは行いませんでしたが、皆様との交流は、楽しいものでした。

★11月4日 コロナ禍での日帰りバス旅行

昨年度に引き続き、感染症対策を万全にして山梨県へ行ってきました。「ぶどう狩り」「オルゴール館」など、楽しい旅となりました。

★12月24日 生産性の向上に向けた取り組み

自主製品の売り上げアップと環境の3M(ムリ・ムラ・ムダ)を省き、工賃向上や安心、安全に向けた環境整備を目指す)に取り組みました。2グループに分かれて、コスト削減や新商品の開発について検討し、必要な物、不必要な物の選別を行いました。

★2023年1月19日 新商品開発と販路拡大ケーキの作製

やまばと希望寮より依頼があり、お誕生会でのケーキを作りました。経費や見た目や味、食感等を自主製品グループで話し合い、検討を重ねながら作りました。当日は希望寮で盛り付けを行い、皆様美味しく召し上がって下さいました。



ワークセンターあさがお

★4月29日 3人があさがおの新しい仲間

新規利用者さんの新人歓迎会。3人を迎えてメンバーは22名に。豪華な?お弁当と自己紹介ゲームで、お互いを知り合い親睦を深めました。

★5月14日 あさがお利用者地域の人たちとの交流事業として『しまトレ』スタート

3年前から準備してきた『しまトレ』。コロナで延びましたが、自治会長さんや民生委員さんたちの協力も得て、やっと実現。3月まで述べ800人以上が参加し、体力作りと交流の場になりました。

★6月 利用者・保護者・職員との親睦会を2年ぶりに開催。

浜松ベルの会の野田奈津代さんとベルの会講師によるコンサートと音楽体験。トーンチャイムで全員参加の合奏。キッチンカーも登場し、買い物もわくわくでした。

★2023年2月10日 今年も出来た!日帰りバス旅行。

掛川つま恋リゾートと赤ずきんちゃんおもしろ農園で、軽スポーツ大会と創作&いちご狩り。ランチは豪華な部屋でマナーを守って食事。きれいな押し花のフレームづくり、食べ放題のいちご狩り、バスの中でのビンゴゲームと、楽しさいっぱい、美味しさいっぱいの日でした。

★2023年3月31日 利用者・保護者・職員で年度末慰労会と異動職員送別会

今年度も協力し合って事故なく、売り上げも維持できたことを祝い、感謝と労いのとき。全員参加のゲームで盛り上がり、定番のビンゴゲームでさらに盛り上がりました。13年間あさがおの施設長として皆を引っ張って下さった榛地施設長とは、涙でのお別れ。



地域活動支援センターレタスクラブ

★8月5日 あつまり〜な夏祭りの手伝い

利用者5名と職員3名が、館内夏祭りの金魚すくいを担当。マーガレットやさくらのご利用者さんが、楽しく「すくう」ことができるよう協力しました。

★9月19日 3年ぶりにわかふじスポーツ大会に出場

コロナで中止されていましたが、島田市ローズアリーナで開催。ご利用者のRさん、Aさん、Hさんが卓球の部で出場し、日頃の練習成果を発揮。Rさんは金メダル獲得。Aさん、Hさんは、来年に向けて練習に励むことを決意しました。

★12月16日 あつまり〜なクリスマス会でクイズと歌

ご利用者5名、職員3名、ボランティア1名が出し物「箱の中身はなんだろう?」クイズと「手話付の歌」を披露しました。箱の中身は「へび・たわし・ぬいぐるみ・人間の頭」。指名されたご利用者は(おっかなびっくり)、手を入れてしばらく沈黙しましたが、次々と当ていき、拍手喝采。「愛は勝つ」の歌を手話付で披露したところ、前に出て踊り出すご利用者もいて、にぎやかな集いになりました。



牧ノ原やまばと学園 事業所所在地 一覧 (2023年4月1日現在)

- 法人本部**
 - ① 牧ノ原やまばと学園本部
- 障害者支援施設**
 - ② 垂穂寮
 - ③ やまばと希望寮
- 養護老人ホーム**
 - ④ 相寿園
 - ⑤ 島田市立養護老人ホームぎんもくせい
- 特別養護老人ホーム**
 - ⑥ 聖ルカホーム
 - ⑦ グレイス
- 通所介護(高齢者施設)**
 - ⑧ デイサービスセンター真栗
 - ⑨ デイサービスセンターさずらん
- 介護予防拠点施設**
 - ⑩ コミュニティセンターぶどうの木(こにた)
- 生活介護(障害者施設)**
 - ⑪ ケアセンターかたくりの花
 - ⑫ ケアセンター野ばら
 - ⑬ ケアセンター花もも
 - ⑭ ケアセンターマーガレット
- 就労継続支援事業所(障害者作業所)**
 - ⑮ ワークセンターカサランカ(A型)※1
 - ⑯ ワークセンターコスモス(B型)※1
 - ⑰ ワークセンターなのはな(B型)
 - ⑱ ワークセンターあさがお(B型)
 - ⑲ ワークセンターやまばと(B型)
 - ⑳ ワークセンター希望の家(B型・主)※2
 - ㉑ ワークセンターふれあい(主・従)※2
 - ㉒ ワークセンターさくら(B型)
- 地域活動支援センター**
 - ㉓ レタスクラブ(ひきこもりがちな人への居場所)
- 訪問介護事業所**
 - ㉔ ライフサポートさずらん
- 居宅介護支援事業所(ケアプラン作成)**
 - ㉕ 居宅介護支援事業所シャローム
- 相談・調整・権利擁護など**
 - ㉖ 牧之原市地域包括支援センターオリブ(高齢者)
 - ㉗ 生活支援センターやまばと(障害者)
- 共同生活援助(障害者グループホーム)**
 - ㉘ みぎわ
 - ㉙ もくれん 従※2
 - ㉚ わかば 主※2
- 保険医療機関**
 - ㉛ やまばと診療所



- 共同生活援助(障害者グループホーム)**
 - ㉘ みぎわ
 - ㉙ もくれん 従※2
 - ㉚ わかば 主※2
- 保険医療機関**
 - ㉛ やまばと診療所

※1 A型は一般企業就労を目指す作業所
B型は大半の人がここで働き、資金を得る作業所
※2 主は「主たる事業所」、従は「従たる事業所」の意味

歩みのあと

(三月一日〜四月二十日)

●全体的なこと
 (法人)3/1〜9最終補正ヒアリング。
 3/17新人管理者等研修・講師は田島誠氏。「施設長に求められる目標と行動指針」12名参加。3/15管理者歓迎会。3/18第6回理事会。主な議題は、「新年度事業計画案」予算案等。4/1新人職員オリエンテーション19名。4/3〜7大学新卒職員研修5名。4/12新年度研修・基調講演日本女子大学久田則夫先生「いきいきと喜びをもつて働く人になるために確認すべきこと」。他に3施設の取組発表。三〇名参加。
 《垂穂寮》3/22と4/26大津地区買い物支援車両提供。4/25改革委員会改め運営委員会開催。
 《野ばら》3/14ST様お別れ会。4/7ボーリングと輪投げ大会。4/26スイーツデー。甘いものをいただく。
 《みぎわ》3/16法人内グループホーム職員話し合い。4/23消防通報訓練。
 《やまばと希望寮》3/22職員送別会。4月「家族だより」どりむの発行。
 《生活支援センター》3/11ポッチャ体験会(くらし部会)。
 《わかばもくれん》3/20明るい未来検討会。3/25保護者会。4/9吉田港海岸清掃参加。4/17明るい未来検討会。
 《花もも》誕生日会。4/21お話ポラントシア。
 《かたくりの花》3/3ひな祭りの会。3/24と3/27年度末お楽しみ外出。4/27地震避難訓練。
 《マーガレット》3/20利用者3名の誕生日会。4/27月末そうじ。全員であつまリーナ館内清掃。
 《カサランカ》3/28お花見をして昼食。その後、阿知ヶ谷ランド周囲の草取り。
 《コトモミ》3/3交通安全指導員を招き交通安全教室。
 《なのはな》3/31年度末お疲れさま会(なび引き)。
 《希望の家》3/10 KADODE大井川で買い物訓練。4/28新年度第1回ポッチャ大会。
 《ふれあい》3/15施設周辺の皆様に感謝の気持ちを、縫製品に手紙を添えてお宅へお届け。
 《あさがお》4/25地震想定防災訓練。購入したルメットの着用確認。
 《WOCやまばと》3月。ホワイトデー自製製品に多くの利用者が携わられる。3/153年ぶりのボーリング大会。4/20あつまりナ全体で地震想定防災訓練。改善点を防災委員会が検討。
 《レタスクラブ》3/2あつまりナ近辺の桜を見ながらお花見ランチ。4/21喫茶ほっといランチ。
 《聖ルカホーム》栄養士実習。常葉大学1名。3/14〜3/17ご家族などとの面会を対面方式で再開(事前予約)。
 《グレイス》百歳の誕生日祝い。たい焼きを食べました。
 《相寿園》3/22〜24相良高校生「インターンシップ」を初めて受入。利用者にとつとも別れたら体験になりました。
 《ぎんもくせい》物価高騰対策支援金。事務費の補填を4月に通り定員分頂ける予定。市長、副市長、担当課から4つの申し入れあり。火災補修工事予定も見積り漏れにより延期。
 《真栗》3/23ちらし寿司作り。3/28吉田公園外出。4/1創立24周年記念でお弁当と紅白饅頭でお祝い。3/21ばたもちづくり。3/24ちらし寿司作り。4/1おやつバイキング。4/29たけのこ飯。
 《さくらん》総合事業更新(牧之原市)。「シャローム」他の事業所と連携して支援。4/11主任ケアマネ会議。市内ケアマネ育成や資質向上に関する研修企画をしました。
 《オリブ》4/18市防災緊急連絡訓練。早朝電話連絡三職種LINE網と全員LINE網を整備。
 《ぶどうの木》ほととサロ利用者と東光寺に長藤鑑賞へ。
 あとがき
 ☆表紙の写真はワークセンターなのはなのご利用者。大好きなアイドルの話をするときの笑顔、挑戦したことができるようになった時の笑顔は素敵です。
 ☆石川県や千葉県など、各地で地震等が発生しており、被災された方々には心からお見舞い申し上げます。(I)